

2010年10月19日開催 第552回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 黒田勇委員
齊藤善也委員 東野博昭委員 神谷徹委員（書面）

■ 毎日放送出席者

河内社長 田中専務 上田専務 松島常務 河村編成局長 梅本報道局長
熊ラジオ局長 立野コンプライアンス室長

◆ 「全国ネット番組」について

第552回番組審議会は10月19日(火)に開かれ、「全国ネット番組」について意見交換しました。

各委員の主な意見は次の通り。

* 「はなまるマーケット」の特集で、“歌う道徳講師”という方が紹介されていた。放送が終わったらすぐにその人の情報をアップして欲しい。テレビやラジオの放送だけではなく、ネットとの連動も不可欠だと思う。

* バラエティー番組の中で、海外の映像や動画をネットから持ってきて放送することがある。ネット情報とどう向き合うのかは、どの局でもしっかりとした姿勢を打ち出さざるを得ない。報道部門では検証していると思うが、バラエティーや娯楽番組でも非常に気になる。

* 改編発表資料に「TBSでしか見られないエッジのきいた番組をお届けする」という表記があり、期待していたが、やはり相変わらずの焼き直しがほとんどだ。大切なのは、斬り口だと思う。

* 10月14日の「Nスタ」の冒頭の話題が、チリの落盤事故で愛人に出迎えられた男性作業員の話で始まり、抱擁するシーンをずっと流していた。その日の冒頭のニュースがそれかという感じがし、違和感を覚えた。

* この秋からの新しいドラマ「獣医ドリトル」は、命の大切さを強く感じさせる素晴らしいドラマだ。現代の風潮への問題提起もなされており考えさせられた。ただ、治療に成功した途端に、すべての問題が解決し、人間のこころも一挙に「治療」されて

しまうというのは、あまりにも安易な展開で引っかかる。

*TBSは、まじめで少しかたいイメージがあって、バラエティーで元気な番組をつくる他局に比べると、まねとか後追いをしてもなり切れないというのか、突き抜け切れないというのか、何か壁を自分で作ってしまっているというのか、そういうイメージがある。

*ニュース報道については、ぜひともTBSでニュースを見たい。TBSで知りたい。TBSのキャスターの分析と解説コメントを聞きたいと、そういうふうに思わせるレベルにはまだ到達していないというのが実感。

■ 「BPO放送倫理検証委員会との意見交換会」開催についてコンプライアンス室長が報告した。

以上